

2022年10月25日

VR、ARの活用で建設業の効率的な働き方を後押し リコーバーチャルワークプレイスとmixpaceが連携

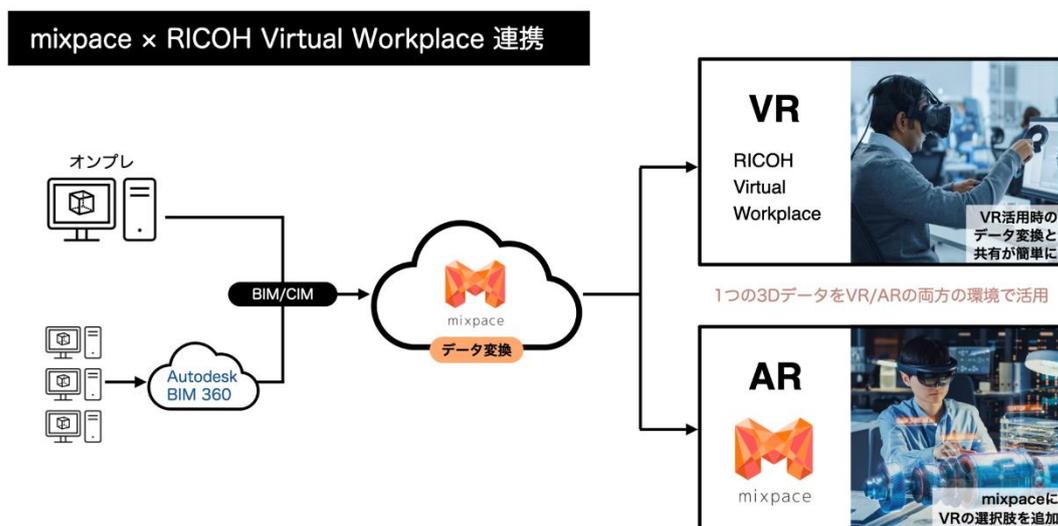
株式会社リコー（社長執行役員：山下 良則）と株式会社ホロラボ（代表取締役 CEO：中村 薫）は、建設業界のデジタルデータ活用による生産性向上を目的に、リコーが提供する「リコーバーチャルワークプレイス（以下、VWP）」と、ホロラボが提供する製造業・建設業向け 3D データ変換ソリューションである「mixpace」を、10月25日から連携します。

VWPは、任意の空間をVR上で再現し、VRヘッドセットを使って空間に一堂に会することが可能なサービスです。また、mixpaceは、3DCADやBIM/CIM*1ファイルをAR用に変換・表示できるソリューションで、クラウドを介した自動データ変換により3Dデータの活用が容易になることが強みです。今回のVWPとmixpaceの連携により、お客様の3DCAD・BIM/CIMファイルからmixpaceで変換したデータを、VWP上のVR空間で活用することが可能になり、建設業でのデータ活用の選択肢が広がり、協議での認識合わせや、デザインレビュー、設計・施工検討での効率化を図れます。

リコーは今後も人にやさしいデジタルで“はたらく”に寄り添い、お客様がはたらく喜びを感じる、そのお手伝いをします。

*1 BIM・・・Building Information Modeling これまで2次元で行われてきた設計を3次元で行うこと。設計、資材、構造、設備などの情報を1つのデータで管理するシステム。

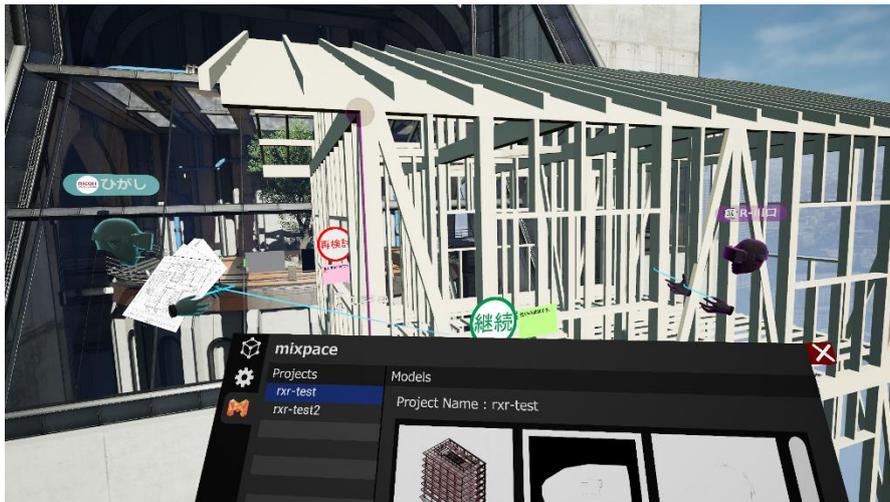
CIM・・・Construction Information Modeling / Management 土木工事において3次元のデータ(3次元モデル)と各種のデータを結びつけて活用すること。



<連携イメージ>

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp



<VR 利用イメージ>



<AR 利用イメージ>

背景

建設業において、2024年4月より施行が予定されている改正働き方改革関連法案の中で、残業時間の上限に罰則規定がもうけられるなど、ICT活用による効率化、労働生産性の向上が急務となっています。また、国土交通省が2016年から推進する、建設現場にICTを活用し、生産性アップをめざす取り組みであるi-Construction(アイ・コンストラクション)では、2025年までに建設業界の生産性を20%向上させることを目指しています。そのためにはBIM/CIMなどの3Dデータの活用が必要不可欠と考えられており、今後3Dデータの活用がますます活発となることが予想されます。これまで、様々なVR/ARサービスが開発・運用される中で、それぞれに適した用途や強みがあることが明らかになってきました。3Dデータのさらなる活用のため、どちらか一方ではなく、VR/AR両方で使用できることが期待されています。

今回の連携によって実現すること

- これまで VWP で BIM/CIM ファイルを再現するには、別途 VWP 向けのデータの変換・共有が必要でしたが、今回の連携によって、mixpace のクラウドを通してデータ変換・共有が行えるようになり、データの利便性が高まります。
- データ変換と AR での表現を強みとする mixpace と、VR での BIM/CIM ファイルや点群データ、360 度画像・映像の表現機能を持つ VWP が連携することで、クラウドから VR、AR での表現が可能となり、データ活用の幅が広がります。
- mixpace クラウド上にある BIM/CIM ファイルを、VR、AR の両方に活用できるようになります。これにより、VR が得意とする空間全体の展望や、建物の中に入ってのスケール感の把握、AR が得意とする建築物の完成イメージの共有や施工確認を、共通のデータを使って行うことができます。
- これまでクラウドデータを PC 等の画面上でしか見ていなかったお客様が、VR 空間上でデータを再現して遠隔地にいるメンバーと共有しながら確認することや、iPad や HoloLens 2 を使って AR 上に再現することが可能になります。

※VWP と mixpace の連携機能の利用には両サービスの契約が必要です。

【「mixpace」について】

「mixpace」は、手軽に 3DCAD や BIM で作成したデータを AR/MR 対応デバイスで確認が可能な 3D モデルに変換でき、設計、製造、建設、配置シミュレーション、施工、保守などで 3D データを活用いただけます。これまで手作業で何日もかかっていた、AR/MR 向けの変換作業が、最短 1-2 分*で自動的に完了するので、作業時間の大幅な短縮が見込めます。詳細はこちら

(<https://biz.cas.softbank.jp/mixpace/>)をご覧ください。

* 変換に要する時間はデータの内容によって変わります。

* mixpace の商品説明や契約についてのお問合せは、販売会社の SB C&S 株式会社へお問合せください。

<https://biz.cas.softbank.jp/mixpace/form-inquiry/>

【株式会社ホロラボについて】

株式会社ホロラボは、2017 年 1 月 18 日 (Microsoft 社の「HoloLens」の日本での提供開始日) に設立された研究開発型の企業です。「Windows Mixed Reality」に代表される最新技術をいち早く使いこなし、より多くの人たちが体験できるよう、調査研究、システム・アプリケーション開発、啓蒙活動を行っています。2017 年 11 月 8 日に Microsoft Mixed Reality パートナープログラム認定を取得しました。詳細はこちら (<https://hololab.co.jp/>) をご覧ください。

【VWP について】

「リコーバーチャルワークプレイス」は、お客様の各種 3D データをバーチャル空間で再現し、遠隔から VR ヘッドセットやブラウザを使って、その空間に一堂に会することが可能なソリューションです。人の存在感、自然な操作、2 次元・3 次元情報の共有、質の高いビジュアル、各種データ連携、360° ライブを活かし、バーチャルなワークプレイス上で、物理的に離れた場所にいる人と自然で自由なコミュニケーションを行う、新しい働き方「リアルよりも便利に働ける世界」を実現します。

<https://accelerator.rioh/rvwp/>

*VWPに関するお問い合わせ先

<https://webform.ricoh.com/form/pub/e00126/contact01>

※iPadは、Apple Inc.の商標です。

※Microsoft、HoloLens は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、お客様のデジタル変革を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2022年3月期グループ連結売上高1兆7,585億円)。

imagine. change. 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、[ワークプレイスの変革](#)を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>